

標準施工仕様書

製品名	フォアナインコート01
種別	防水・防錆シリコンコーティング1液タイプ
荷姿	20 kg/缶
用途	陸屋根（非歩行）
適用基材	塗膜防水等（劣化程度によって付着試験を行い、適切な下塗材を選定して下さい）

※非歩行…基本的に屋根として使用し、頻繁な人の歩行を想定しない用途

●陸屋根防水仕様

工程	材料・調合	調合	所要量/㎡/回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (20℃)	可使時間 (20℃)
下地調整	<ul style="list-style-type: none"> ●高圧洗浄機などで表面の汚れ、付着物の除去を十分に行い乾燥させてください。 ●ひび割れ、接合部、ドレイン、パラペット、換気塔などは先行して補修してください。 ●下地の凹凸の補修、役物周りの補修をしてください（ボルト、金物などのゆるみの補正）。 ●各種塗膜防水下地には事前に付着テストを行い、適切な下塗材を選定して下さい。 ●アスファルトルーフィングや塩ビシート等、各種シート防水下地の仕様は別途お問い合わせ下さい。 						
下塗り	シリコン浸透シーラーEX 主剤 硬化剤 無希釈	12.5 kg 2.5 kg	0.1~0.2 kg (75~150㎡)	刷毛 ローラー エアレス	1~2	3時間以上 7日以内	4時間 以内
上塗り	フォアナインコート01 塗料用シンナーA	20kg 0~5%	0.5~1 kg (20~40㎡)	コテ塗り 刷毛 ローラー エアレス	2~3	夏：3時間以上 春秋：5時間以上 冬：12時間以上	—

※所要量や塗回数は使用環境、下地の状況により変化いたします。

注 意 事 項

- ・フォアナインコート01は規定の所要量を守って下さい。不足する場合は塗り回数を増やして下さい。
- ・フォアナインコート01は開封後1缶使い切るように使用してください。
- ・フォアナインコートの塗膜には塗料や接着剤、テープ類を施工することができません。補修や塗替えの際も同製品をご使用ください。
- ・上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- ・下地の表面が著しく劣化し、脆弱になっている場合は施工出来ません。
- ・危険物（第2石油類）に属しますので取り扱いの際は火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- ・素地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等の本来の塗膜性能を発揮出来ない恐れがあります。
- ・水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- ・希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢が悪くなります。
- ・施工環境が気温 60℃以上 5℃以下の場合・湿度 85%RH 以上の場合・結露が発生する可能性がある場合・外部の施工で降雨が予想される場合、常に結露が発生する地域・時期・場所での施工は避けてください。
- ・エアレスでの施工は飛散により周囲を汚すトラブルの原因となります。飛散防止対策は確実に行ってください。
- ・工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- ・材料は、出来るだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- ・他の塗料などと混ぜないでください。また、ローラーや刷毛などを使用する用具や手袋などは兼用しないでください。
- ・塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- ・塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。
- ・目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、出来るだけ早く医師の診断を受けてください。
- ・皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- ・臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ・ご使用の際は容器に記載されている注意事項をよく守ってください。詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。